

都民ファーストの会

細川正博

豊島区議会議員



巣鴨小OB。豊島に恩返し。

【細川正博（ほそかわまさひろ）・略歴】

◇地元生まれ、サラリーマンを経験、子育て真っ最中

昭和53年（1978年）10月、豊島区南大塚生まれ。私立巣鴨幼稚園、区立巣鴨小学校、法政大学第一高等学校、法政大学法学部政治学科卒。財団法人建設物価調査会（専門誌調査員）で約10年勤務。高校生・中学生の息子、小学生の娘の子育て真っ最中。

【細川正博事務所】〒170-0005 豊島区南大塚 1-51-17 TEL 03-3945-2530
【後援会事務所】〒170-0005 豊島区南大塚 3-53-8 土屋ビル 1F（4月末まで開設）
TEL03-3940-7608 FAX03-6774-8774 Mail: info@hosokawamasahiro.jp

政策等の詳細、日々の活動はHP/Blog/Facebookにて発信中！
※活動レポートをお届けいたします、ご希望の方はご一報ください。また、バックナンバーはHPでご覧いただけます。



◇本号のトピックス◇

- ◆政策◆これまでの活動・実績◆第1回定例会
- ◆31年度予算案が成立！予算特別委員会での主な質疑について
- ◆辻由起子さん講演 など

◇政策

～4つの柱で課題解決、子供たちの世代へ責任ある政治を！～

- 安全・安心して住めるまちづくりに向け、防災・治安・環境対策へ力を入れます
 - ・ゲリラ豪雨対策推進
 - ・繁華街の治安対策充実
 - ・無電柱化推進
 - ・災害対策（救援センター機能充実、情報発信手段充実等）
 - ・防犯カメラの更なる設置推進
- 教育環境を整え、子供たちの生きる力を育みます
 - ・コミュニティスクール化推進
 - ・道徳教育、ふるさと教育などで郷土愛育成
 - ・公教育充実による教育機会の均等化
 - ・働き方改革、業務見直しなどで教員が子供に向き合える時間増
 - ・校舎等老朽化対策、体育館等冷暖房化、ICT化等による設備面充実で教育環境整備
- 子の誕生を喜び、長寿を楽しめるように生活環境を充実させます
 - ・介護予防、フレイル（虚弱）予防、認知症対策
 - ・生活困窮者等、困難を抱える若者の相談、自立支援策充実
 - ・障害者など社会的弱者との共生推進
 - ・としまイクボス宣言によるワークライフバランス推進
 - ・妊娠から出産、子育てまで切れ目のない子供家庭支援
 - ・待機児童ゼロの継続
- 地域の力を引き出し、地域活性化を図ります
 - ・町会活動への支援強化
 - ・商店街への支援充実
 - ・無料wi-fiエリア拡大、キャッシュレス決済推進
 - ・行政の区域再編等で行政と地域との連携をより強化
 - ・地方との共生の推進



政策の詳細はリンク先をご覧ください

◇これまでの活動・実績

<地方議員の仕事とは>

地方議員の仕事は大きく3つに分けられます。

- (1) 議会の機能（①代表機能、②政策形成機能、③行政監視機能）※1
- (2) 政党活動、政治活動（党勢拡大、選挙基盤固めの活動、情報周知の活動）
- (3) その他（地元活動、ライフワーク、情報収集、人的ネットワーク構築等）

※1 磯崎初仁氏「自治体議員の政策づくり入門」より

上記の分類による私のこれまでの活動の一端をご紹介します。

(1) 議会の機能

- ①代表機能（住民の多様な意見や利益を代表する役割）
 - ・南大塚1丁目のゲリラ豪雨対策
 - ・通学路等のブロック塀対策
- ②政策形成機能（条例、予算、計画などを決定する役割）
 - ・骨髄移植ドナー支援制度の創設
 - ・としまイクボス宣言の提案
- ③行政監視機能（執行機関の活動監視、適正さ確保、牽制などの役割）
 - ・障害者地域生活支援拠点整備事業のスケジュール遅延を厳しく追及

(2) 政党活動、政治活動（党勢拡大、選挙基盤固めの活動、情報周知の活動）

- ・都民ファーストの会 基礎自治体連絡協議会事務局長、都民ファーストの会 豊島総支部事務局長として事務方を取り仕切り
- ・駅頭活動、区政報告会、定期的な活動レポート発行（年3回程度）など

(3) その他（地元活動、ライフワーク、情報収集、人的ネットワーク構築等）

- ・南大塚都電沿線協議会のバラ手入れのボランティア作業へ定期的に参加
- ・大塚三業通り商店街の立上げに関わり、現在も相談役として一緒に活動
- ・龍馬プロジェクト全国会、東京若手市議の会などの人的ネットワークを活かし、情報収集に努め、区政へフィードバック



◇南大塚1丁目のゲリラ豪雨対策



2013年8月のゲリラ豪雨で130件以上の床上下浸水等が起きる甚大な被害を受けました。区のできる対応はすぐに行うと共に、地域の声を取り纏め東京都下水道局に働きかけ、同年12月に抜本的な対策となる千川増強幹線工事実施へ漕ぎ付けました。これにより大塚三業通り、宮仲公園通り沿いなどの下水能力が向上します。現在は対策工事中で工期は2020年度中。



作業ヤードの上池袋東公園
現在はシールドマシン準備工事中

◇通学路等のブロック塀対策



2018年6/18、大阪府北部地震によりプールのブロック塀が倒壊し小学生が犠牲となりました。これを受け、即日会派で区に対し通学路等のブロック塀の緊急点検及び対策を行う旨の要望を実施。通学路及び区有施設等の総点検を行い、学校施設を含む区有施設の危険箇所は対応。通学路に面する民有地は安全点検及び所有者への助成など情報提供など実施。



会派で区に対し緊急要望を実施

◇骨髄移植ドナー支援制度創設



2016年1月より東京23区初となるドナー及び事業者への助成制度が創設。私が提案するきっかけとなったのは自らが骨髄移植を受けて一命を取りとめた経験をもつプロスノーボーダーの荒井"daze"善正さんとの出会いでした。若年層のドナー登録促進など普及啓発活動、骨髄提供に際する経済的負担軽減の助成制度などの必要性を認識。

行政、議会へ働きかけ僅か3か月で実現。3年間でドナー6件、事業所2件への助成実施。

骨髄移植には白血球の型が一致しなければならないため、広く一般からドナーを募る必要性があります。

本区のドナー支援制度が、1人でも多くの命を救うことにつながることを願っております。



3/8 総決起集会にて荒井"daze"善正さんと

◇大塚三業通り商店街の立上げ



2013年12月に発足した大塚三業通り商店街の立上げにJR大塚駅の駅ビル計画に危機感を募らせた地元若手有志と共に関わり、現在も相談役として共に活動。入口看板のリニューアル、大塚三業フェアなどのイベント実施など実績を上げています。商店街立上げは地域の方が地域活性化への当事者意識をもつ事に繋がりました。キャッシュレス決済の面的展開を含め周辺地域へ地域活性化の流れを大きくする所存です。



リニューアルした商店街入口看板
2019.11 実施の大塚三業フェア

第1回定例会

東池袋フレイル対策センター開設に伴う条例改正、豊島区総合高齢社会対策基金条例、芸術文化劇場初度調弁費、豊島区パートナーシップ制度導入に伴う条例改正など

3/13～22、第1回定例会が行われ、議案34件や陳情などの審議をしました。**東池袋フレイル対策センター**は旧東池袋豊寿園を活用した施設。フレイルとは加齢に伴い筋力や認知機能などの心身の活力が低下している状態をいいます。**パートナーシップ制度導入**に伴う条例改正は、4月から始まる同制度の規定整備。

私が所属する子ども文教委員会では、議案1件、議員提出議案1件、陳情1件の審議、19件の報告を受けました。

平成31年度予算が成立！

3/1～18、31年度予算特別委員会が行われ、会派からは私と里中郁男議員が委員として質疑に臨みました。

<平成31年度予算の特徴>

1. 過去最大規模となる予算

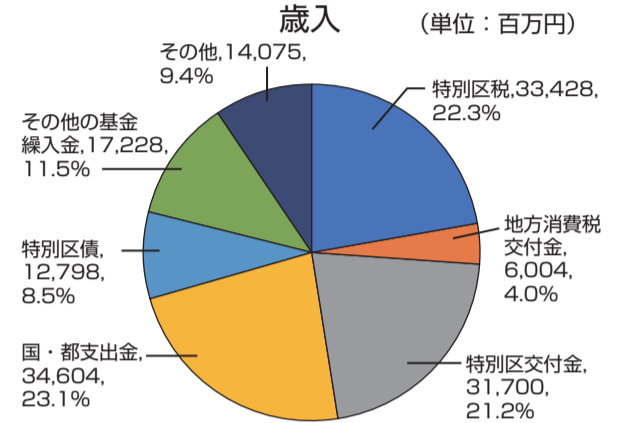
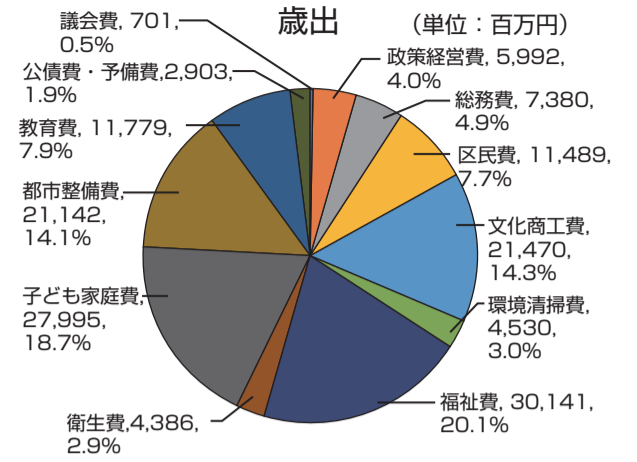
一般会計予算は1498億円（前年度比+252億円）と**過去最大規模**に。Hareza池袋開設など将来に必要な投資が集中したため投資的経費が前年比1.9倍になったこと、待機児童対策に関わる費用が1.2倍になったことが主な要因。

2. 「としま新時代」の礎を築く予算

東アジア文化都市開催、Hareza池袋開設など、**消滅可能性都市**から脱却し新たな時代の礎を築く集大成の予算。

3. 財政調整基金の取り崩しを行わない予算

区民サービスに必要な事業経費は確保した上で、6年連続で**財政調整基金の取り崩しを行わない**安定した予算編成。



◆予算特別委員会での私からの主な質疑内容

<議会費・政策経営費・総務費>

Q: 本区の現行の**業務継続計画**は消防庁が示す重要6要素11項目が網羅されていない。重要要素及び項目を全て満たすよう改定を進めるべき。また、策定後は議会への報告、庁内での周知、訓練を行うべき。

A: 改定作業中、需要要素及び項目は明記する。報告、周知、訓練も実施。
・その他、働き方改革（管理職の休日出勤の実態）、電子申請システムの導入推進、地方（秩父市）との共生推進などの質疑

<区民費・福祉費・衛生費>

Q: 23区初の**骨髄移植ドナー支援制度**は創設して3年が経過。制度の利用実績は。制度の周知を更に図るべきでは。

A: これまでドナーから6件、事業所から2件申請あり。周知は成人式の際の資料配布など。イベント時のチラシ配布など周知を図りたい。

Q: 旧区民ひろば池袋の跡地を活用する**障害者地域生活支援拠点整備事業**のスケジュールが何度も変更。入札不調は積算の甘さからでは。当事者・家族にとって待望の施設、開設をこれ以上遅らせないように。

A: 積算の甘さだけでなく、運営費との兼ね合いもあるのではないかと。開設スケジュールへこれ以上影響を及ぼさないように、区としても主体的になり、事業者と共に考えていきたい。

<環境清掃費・都市整備費>

Q: **外国人向けごみの分別・出し方のQRコード作成事業**の目的・課題は。

A: 外国人の方々にルールを知っていただくため。これまで以上に多国籍となり言語・生活習慣の壁がある。町会からの要望も受けていた。

Q: 本国との風習や文化の違いについて外国籍住民へ伝えることが必要。

A: 国によりリサイクルの考えなどが異なる。多文化共生を進め、日本の文化を伝えたい。
・その他、資源回収・集団回収事業（資源持去り対策）、エリアマネジメントなど

<文化商工費・子ども家庭費・教育費>

Q: **園庭のない保育園の行事**のため、体育館などの使用希望がある場合は、区がある程度調整して対応すべき。待機児童ゼロの次は保育の質、環境面の向上に取り組んで頂きたい。

A: ある程度区が音頭を取り、時期の分散含め検討。

Q: **キャッシュレス決済支援事業**は面的に進める方が効果的、今後の展開は。

A: 区が業者とのマッチングに関わる。中心になる店舗を説得するなど働きかけたい。

Q: **コミュニティスクール**は強く導入を求めてきた事業、どのように進めるのか。

A: 31年度は2校でモデル事業を実施。プランを策定してモデル校2校を4月に発表する。

Q: **教職員の働き方改革**について、出退勤システムの導入は一步前進。**病気休職の欠員が出た場合の対応**が不十分。欠員の補充の人材を現場の努力で探すのはいかにできるのか。管理職の業務見直しやWEB会議導入など会議の方法の改善も図るべき。

A: 都の人材バンクはあるが条件が合わないケースあり。後任が見つからない場合は現場の管理職が担う。ペーパーレス化など業務改善の検討。WEB会議導入は今後検討。

<公債費以降、歳入、3特別会計>

Q: 税の**収納対策**について。収納率の傾向は

A: 日本人の収納率は85.08%、外国人は34.51% 外国人のうち留学生は15.93%、それ以外が78.7%で外国人留学生の収納率が著しく低い。

Q: 税の公平性の観点から問題。どのような収納対策を取っているか。

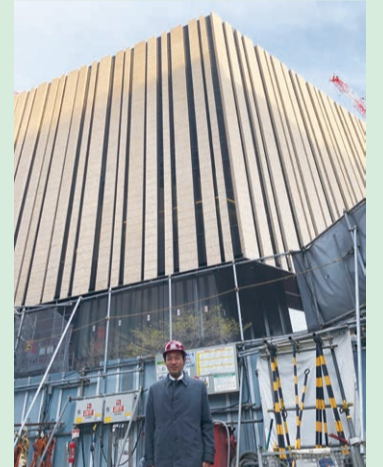
A: 30年度より弁護士による催告。外国人対策として日本語学校への納付勧奨、中国、ベトナム籍の職員採用など。

Q: 四条駅で全国初のQRコード決済が始まった。収納チャネルの更なる拡大は。

A: 現状は、納付書、口座振替、クレジットカード、モバレジなど。区長TOPの収納対策本部がある、国際化の時代で新たな決済手段も検討する。

Hareza 池袋の視察

3/18、予算特別委員会でHareza池袋A棟の工事現場を視察。Hareza池袋は旧庁舎跡地などの一帯を指す愛称で、芸術文化劇場（2019年11月オープン予定）、としま区民センター（同19年11月、一部20年1月中旬）、A棟（オフィス棟・同20年7月）が含まれます。近接する中池袋公園（同19年9月）を含め、これらの開発が新たな賑わいの拠点となることを期待します。



子ども虐待防止アドバイザー辻由起子さん講演

3/10、自由学園明日館にて豊島区子ども家庭部子ども若者課が主催した講演会「子ども・若者のSOSを見逃さない！～子どもの心の声が聞こえますか？～」が行われました。

講師は、大阪府子ども家庭サポーター（大阪府子ども虐待防止アドバイザー）の辻由起子さん。ご自身も若くして結婚・出産、シングルマザーとしての子育てを経験。現在も子育てに悩む方々の相談に乗りながら、全国各地でのご講演を行っている方です。

児童虐待の問題に対応するためには、まず議会、行政職員、教職員、地域の方、など大人が知識を付け、**虐待（暴力だけでなく暴言なども含む）に対する共通認識**をもたねばなりません。支援で終わらせない、互助を増やす、これが大事とのこと。**子供たちへの教育**も必要。他者に対して共感を覚えることができるようにすること。将来に対して見通しを持てるようにすること。**支援のためのハードを整備するだけでは足りない**ことも痛感。支援の現場に思いのある専門職の養成が必要だろうと思います。

本区では**2022年度中に児童相談所を長崎健康相談所との複合施設として開設予定**で準備を進めているところです。上記を踏まえて準備を進め、児童虐待の負の連鎖を断ち切りたいです。



高野区長(左)、辻由起子さん(中央)